

# 2016年3月期 決算説明会資料



▲ ミセスファッション店「BELLUNA」



▲ 基幹カタログ「ベルーナ」



▲ 通販サイト「ベルーナネット」



▲ 裏磐梯レイクリゾート

# ベルーナ

2016年5月20日（金）

- |             |      |
|-------------|------|
| 1.決算ハイライト   | P.2  |
| 2.経営方針の振り返り | P.12 |
| 3.経営方針と取り組み | P.14 |

# 1. 決算ハイライト

---

BELLUNA

1. 決算総括
2. 決算概況
3. セグメント別損益
4. 売上の増減分析
5. 営業利益の増減分析
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書
8. 今期予算について

# 総合通販事業がけん引し、営業利益が前年同期比プラス31.2%

- 売上高は、店舗事業の拡大やホテル事業の寄与により9.2%増。
- 営業利益は、総合通販事業の収益改善などにより31.2%増。
- 当期純利益は、為替相場の変動による損失などがあり44.6%減。

## 1-2. 決算概況

BELLUNA

売上高と営業利益はほぼ予算通り着地。  
一方で、円高により為替関係損益がマイナスに転じたことなどで、経常利益と当期純利益は予算比未達。

単位：億円

連結	15/3期	16/3期				17/3期
	実績	予算*	実績	予算比*	前年比	予算
売上高	1,206.9	1,300.0	1,317.4	1.3%	9.2%	1,400.0
売上原価	535.3	552.0	592.4	7.3%	10.7%	616.0
販売管理費	607.8	655.8	641.3	-2.2%	5.5%	674.0
営業利益	63.8	85.0	83.7	-1.6%	31.2%	110.0
営業外損益	36.8	17.0	-12.6	-174.2%	-134.3%	0.0
(内、為替関係損益)	(27.2)	-	(-19.5)	-	-	-
経常利益	100.5	102.0	71.1	-30.3%	-29.3%	110.0
当期純利益	63.9	67.5	35.4	-47.5%	-44.6%	70.0

※ 2015年5月15日公表予算

# 1-3. セグメント別損益

BELLUNA

売上高 ～ソリューション事業以外はすべて増収。

営業利益 ～ファイナンス事業以外はすべて増益。

特に総合通販事業、ソリューション事業が  
増益に寄与。

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

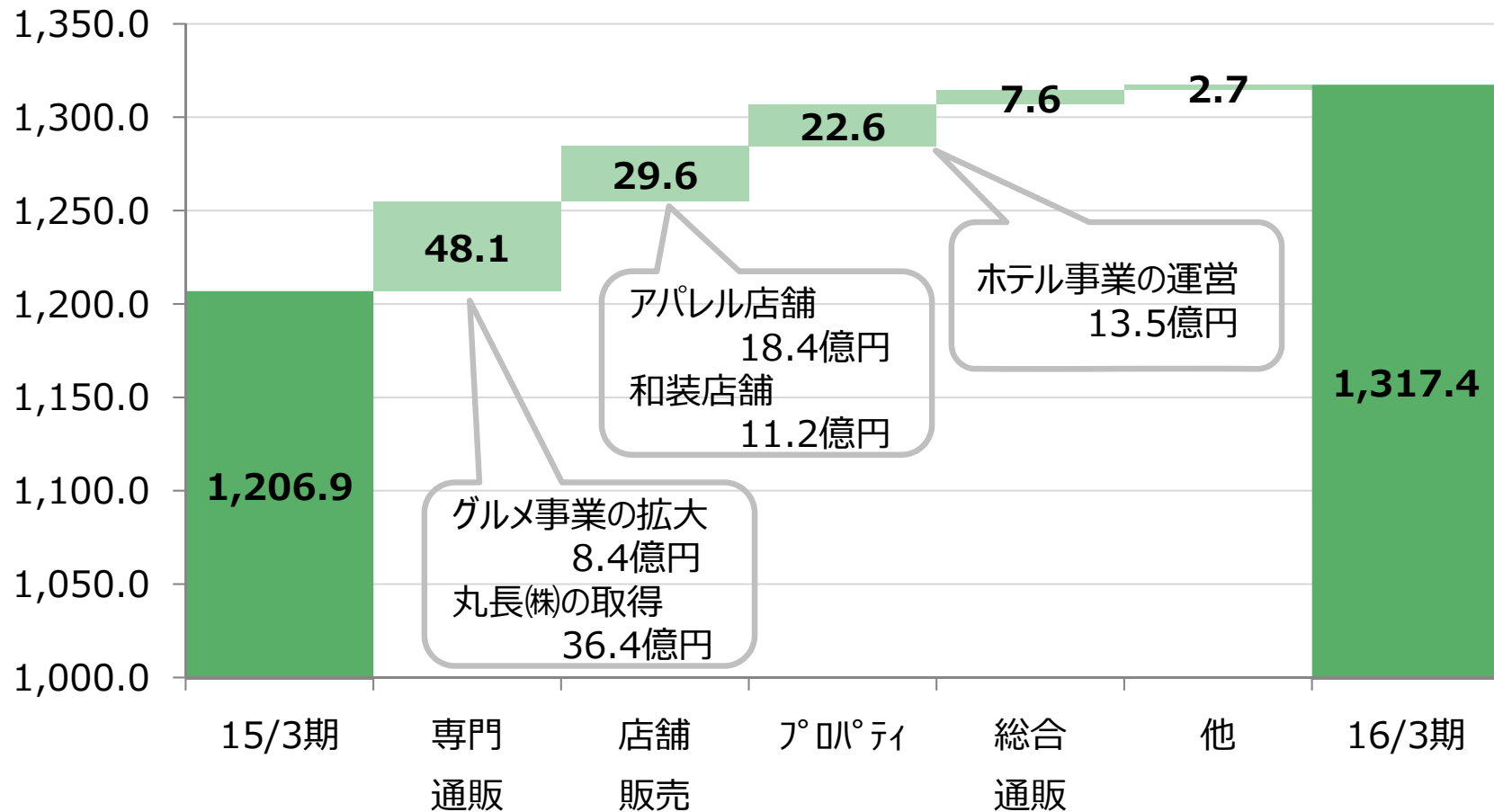
	16/3期								計
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	
売上高	699.7	368.4	103.1	45.8	28.5	44.2	33.0	-5.3	1,317.4
前年比 (%)	+1.1%	+15.0%	+40.2%	-2.7%	+8.9%	+104.6%	+6.8%	+8.7%	+9.2%
予算比 (%)	-0.8%	+3.1%	-7.6%	-7.5%	-2.3%	-28.0%	+2.1%	-88.6%	+1.3%
営業利益	33.8	15.0	2.0	19.9	9.6	6.5	-1.3	-1.9	83.7
前年比(億円)	9.6	2.8	0.5	4.3	-0.3	1.7	1.5	-0.1	19.9
予算比(億円)	6.8	-2.8	-2.2	2.4	-0.3	-3.7	-1.6	0.1	-1.3
営業利益率	4.8%	4.1%	2.0%	43.4%	33.7%	14.6%	-3.9%	35.6%	6.4%

# 1-4. 売上の増減分析

店舗事業の拡大やホテル事業の運営などで増収となったほか、新たに丸長(株)が加わったことで、全体としては、9.2%の増収となった。

売上高の増減要因

単位：億円

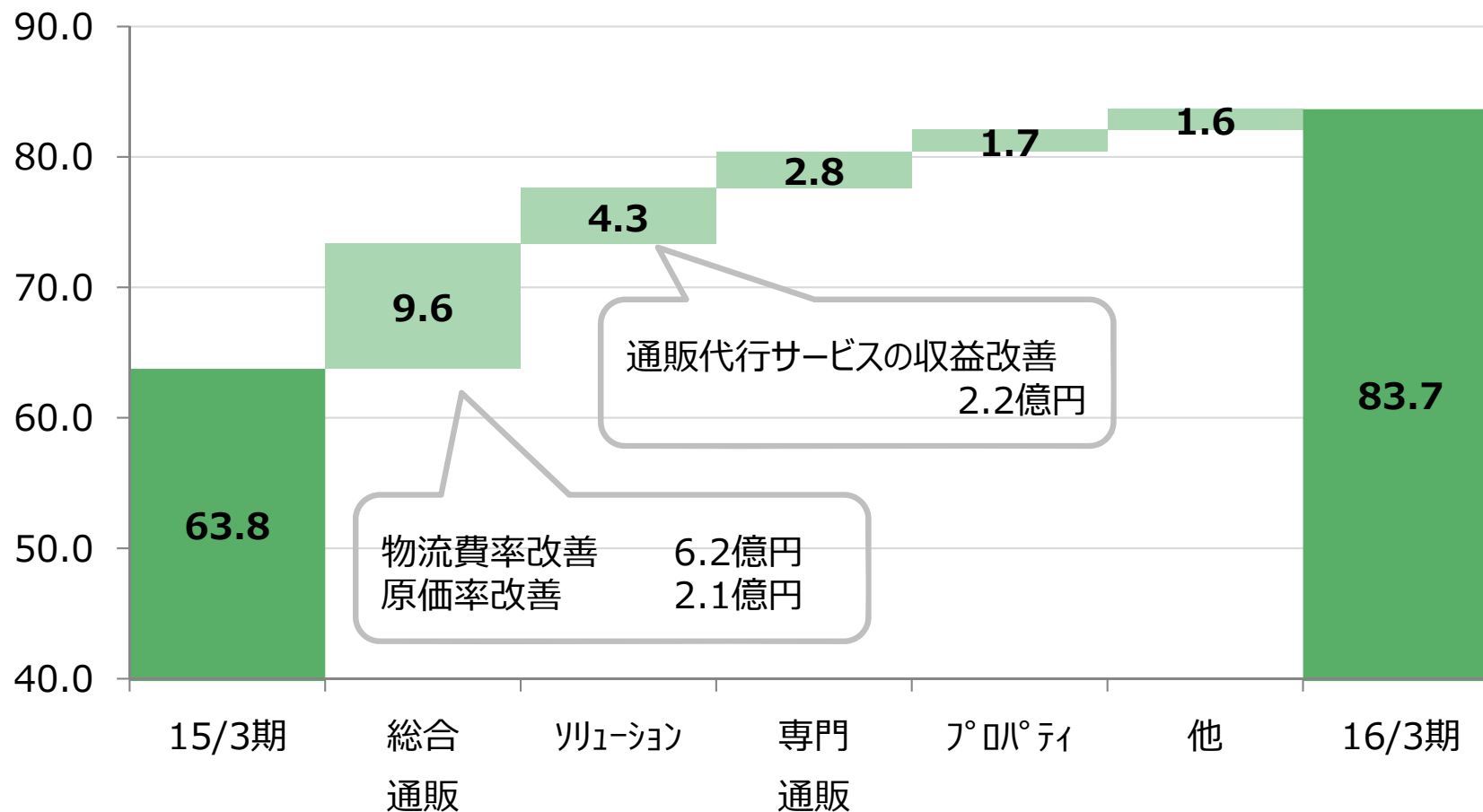


# 1-5. 営業利益の増減分析

総合通販事業は物流費率や原価率の改善などで、またソリューション事業は通販代行サービスの収益改善などで増益。

営業利益の増減要因

単位：億円





## 1-6. 貸借対照表

BELLUNA

資産では、現金および預金、仕掛販売用不動産、有形固定資産などが増加。

これに対し、負債では有利子負債などが増加。

	15/3末	16/3末	増減額
流動資産	698.6	741.9	43.3
現金及び預金	172.4	194.8	22.4
仕掛販売用不動産	3.3	31.7	28.5
固定資産	823.7	868.7	45.0
有形固定資産	558.0	594.6	36.6
投資有価証券	133.3	145.6	12.3
総資産	1,522.2	1,610.6	88.3
負債	727.1	804.1	77.0
未払費用	66.3	78.8	12.5
有利子負債	396.7	464.7	68.0
純資産	795.1	806.5	11.4
利益剰余金	661.2	684.5	23.3
<b>【自己資本比率】</b>	<b>[52.1%]</b>	<b>[49.8%]</b>	<b>[-2.3P]</b>

単位：億円

## 1-7. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

営業活動CFは前期並み。有形固定資産取得による支出が前年比減少したことで投資活動CFは改善。

	15/3期 累計	16/3期累計	
		実績	前年比
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>90.9</b>	<b>91.8</b>	<b>0.9</b>
税金等調整前当期純利益	96.1	60.3	-35.9
デリバティブ評価損益	-21.5	19.4	40.9
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-201.9</b>	<b>-95.0</b>	<b>106.9</b>
有形固定資産取得による支出	-193.5	-52.6	140.8
有形固定資産売却に係る収入	30.0	0.7	-29.4
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>125.7</b>	<b>30.6</b>	<b>-95.1</b>
長短借入金の増減	142.8	48.4	-94.4
キャッシュに係る換算差額	1.3	-6.0	-7.3
キャッシュ増加額	16.0	21.4	5.4
設備投資 *1	201.7	73.1	-128.6
減価償却費 *2	25.1	24.9	-0.3

単位：億円

\*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む \*2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却や長期前払費用も含む

## 1-8. 今期予算について

BELLUNA

売上高と営業利益は、予算の達成度が高まってきた。  
今期は売上高が前年比6.3%増の1,400億円、  
営業利益は前年比31.5%増の110億円を目指す。

単位：億円

連結	15/3期		16/3期		17/3期	
	予算	実績	予算	実績	予算	前年比
売上高	1,280.0	1,206.9	1,300.0	1,317.4	1,400.0	+6.3%
営業利益	84.0	63.8	85.0	83.7	110.0	+31.5%
経常利益	100.0	100.5	102.0	71.1	110.0	+54.8%
当期純利益	70.0	63.9	67.5	35.4	70.0	+97.5%
有利子負債	230~270	396.7	450~500	464.7	430~480	-7.5%~+3.3%
純資産	790.0	795.1	850.0	806.5	865.0	+7.3%
ROE	9.2%	8.4%	8.0%	4.4%	8.1%	3.7P

## 1-8. 今期予算について

BELLUNA

売上高は主力4事業（総合通販、専門通販、店舗販売、プロパティ）を中心に伸長させる。営業利益も同様だが、特に看護師向け通販事業での収益改善が見込める専門通販事業での寄与が大きい。

### セグメント別の予算

単位：億円

	17/3期 予算								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	736.0	404.0	127.7	50.0	31.0	53.8	36.9	-39.4	1,400.0
前年比 (%)	+5.2%	+9.7%	+23.9%	+9.2%	+8.6%	+21.7%	+11.7%	+645.2%	+6.3%
営業利益	37.5	26.3	4.8	22.0	11.5	10.7	-1.0	-1.8	110.0
前年比(億円)	3.7	11.3	2.8	2.1	1.9	4.2	0.3	0.1	26.3
営業利益率	5.1%	6.5%	3.8%	44.0%	37.1%	19.9%	-2.7%	4.6%	7.9%

## 2. 経営方針の振り返り

---

*BELLUNA*

## 2. 経営方針の振り返り

BELLUNA

### 基本方針

### 成果

#### ①ポートフォリオ経営の強化

- ・総合通販事業・・・物流投資を行ない収益性が改善。
- ・専門通販事業・・・M&Aを実施し、拡大基調に。

#### ②新たな事業の成長促進

- ・アパレル店舗・・・出店を加速し52店舗まで拡大。

#### ③通販インフラの整備

- ・2014年8月に吉見ロジスティクスセンターを稼働。総合通販事業の物流費率が大幅に改善。

#### ④株主還元の見直し

- ・2014年3月期に7.5円→12.5円に増配。
- ・2016年3月期からは「株主優待」を導入。

# 3. 経営方針と取り組み

---

BELLUNA

1. 総合通販事業
2. 専門通販事業
3. 店舗販売事業
4. プロパティ事業
5. 株主還元

### 3. 経営方針 ～外部環境

経営計画は、外部環境の変化（消費環境の変化や競争環境の激化など）に対応

#### 外部環境

- ・ 競争の激化
- ・ 為替の変動
- ・ ネット社会

#### 内部環境

- ・ ポートフォリオ経営の成熟
- ・ 組織体制の変化
- ・ 土壌作り

組織体制の変化（成長性・収益性が期待できる要因）

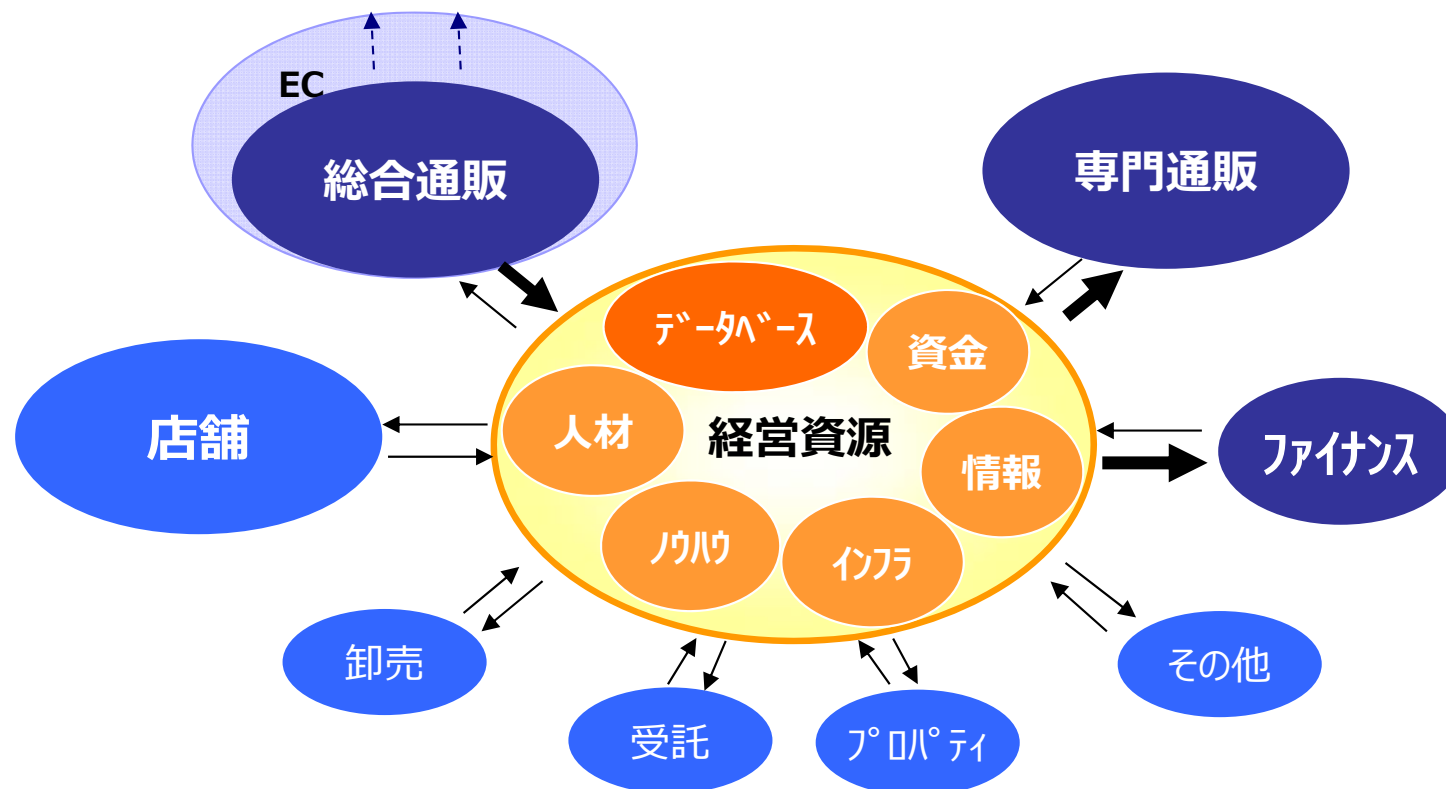
- 1.メンバーのスキルが上がってきた
- 2.主力メンバーが30代中心
3. P L 意識、成長意欲、利益意識のマインドが高まってきた
- 4.主力4事業成長の土壌が出来てきた



### 3. 経営方針 ～ビジネスモデル

## ポートフォリオ経営⇒「通信販売総合商社」を指向する

- ①データベースの活用
- ②データベースの活用に関連するビジネス



## 第三次経営計画

(2017年3月期～2019年3月期)

### 最終年度 目標

- 売上高 **1,600億円** (年平均成長率6.9%)
- 営業利益 **160億円** (年平均成長率20.6%)
- ROE **8%以上確保**

## 主力4事業の拡大

1. **総合通販事業**の安定的な成長
2. **専門通販事業**の拡大
3. **店舗販売事業**の新規出店による拡大
4. ポートフォリオの成熟に向けた**プロパティ事業**  
の強化



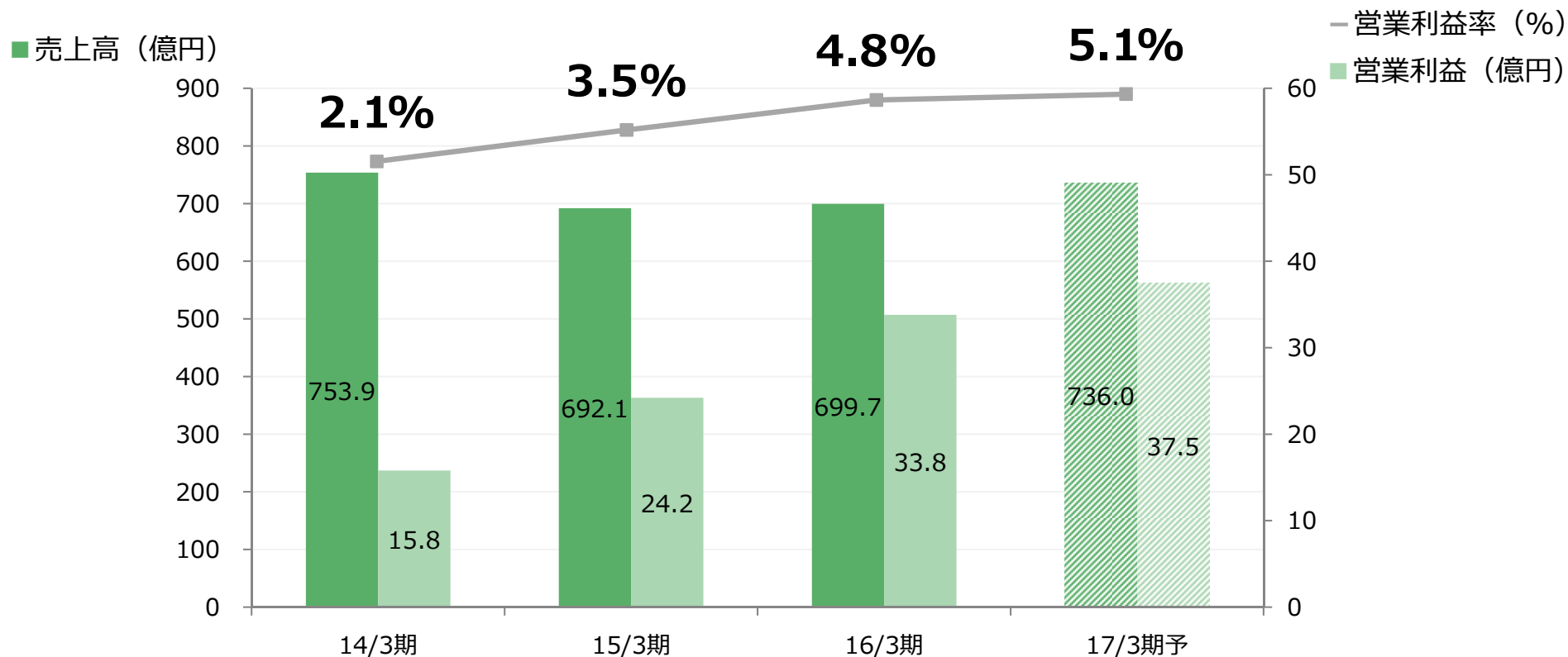
※今回よりファイナンス事業を主力4事業から外して、通販事業を総合通販事業と専門通販事業の2つに分ける。

# 3-1. 総合通販事業

## (1) 総合通販事業の状況

ここ3期は収益体質の強化に努めてきた。  
今後はこれをベースに成長を図る。

- 1. ネットの強化
- 2. カタログ、ネット、店舗のシナジー効果



## (2) 総合通販事業の成長性

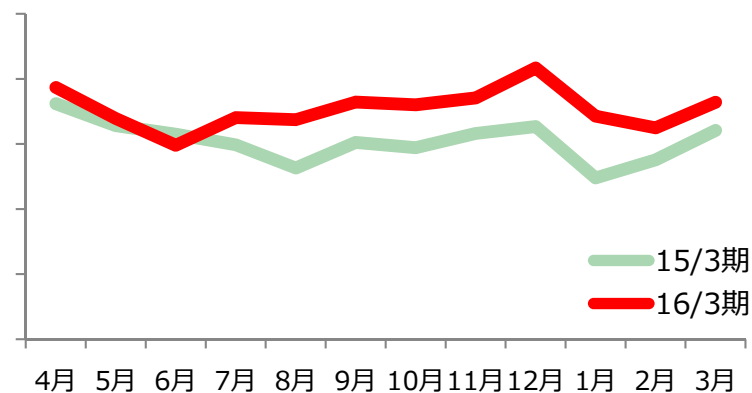
### ネットの強化

- ①サイトの改善
- ②集客改善
- ③ネット専用商品の投入

CVRの改善  
(受注転換率)

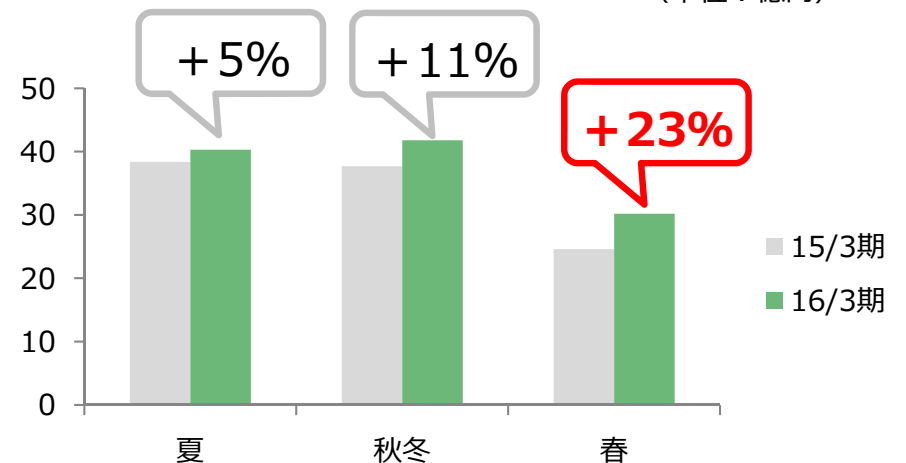
**ネット売上の増加**  
~16春シーズンは23%増

CVR (受注転換率) の推移



シーズン別の受注推移

(単位: 億円)



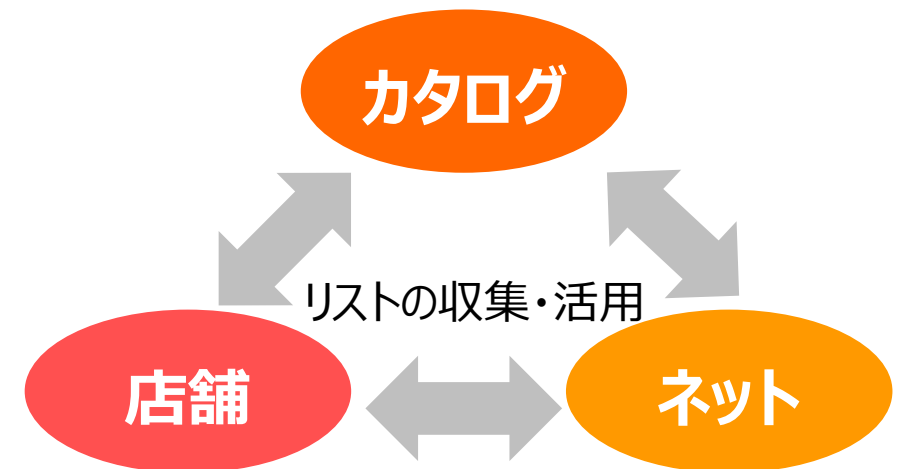
<注> ネット完結受注のみ

## (2) 総合通販事業の成長性

### カタログ、ネット、店舗のシナジー効果

#### 1. 相乗効果により相互（カタログ、ネット、店舗）に効率改善

- (1) 通販のレスポンス向上
- (2) ネットのCVR向上
- (3) 店舗の増収効果



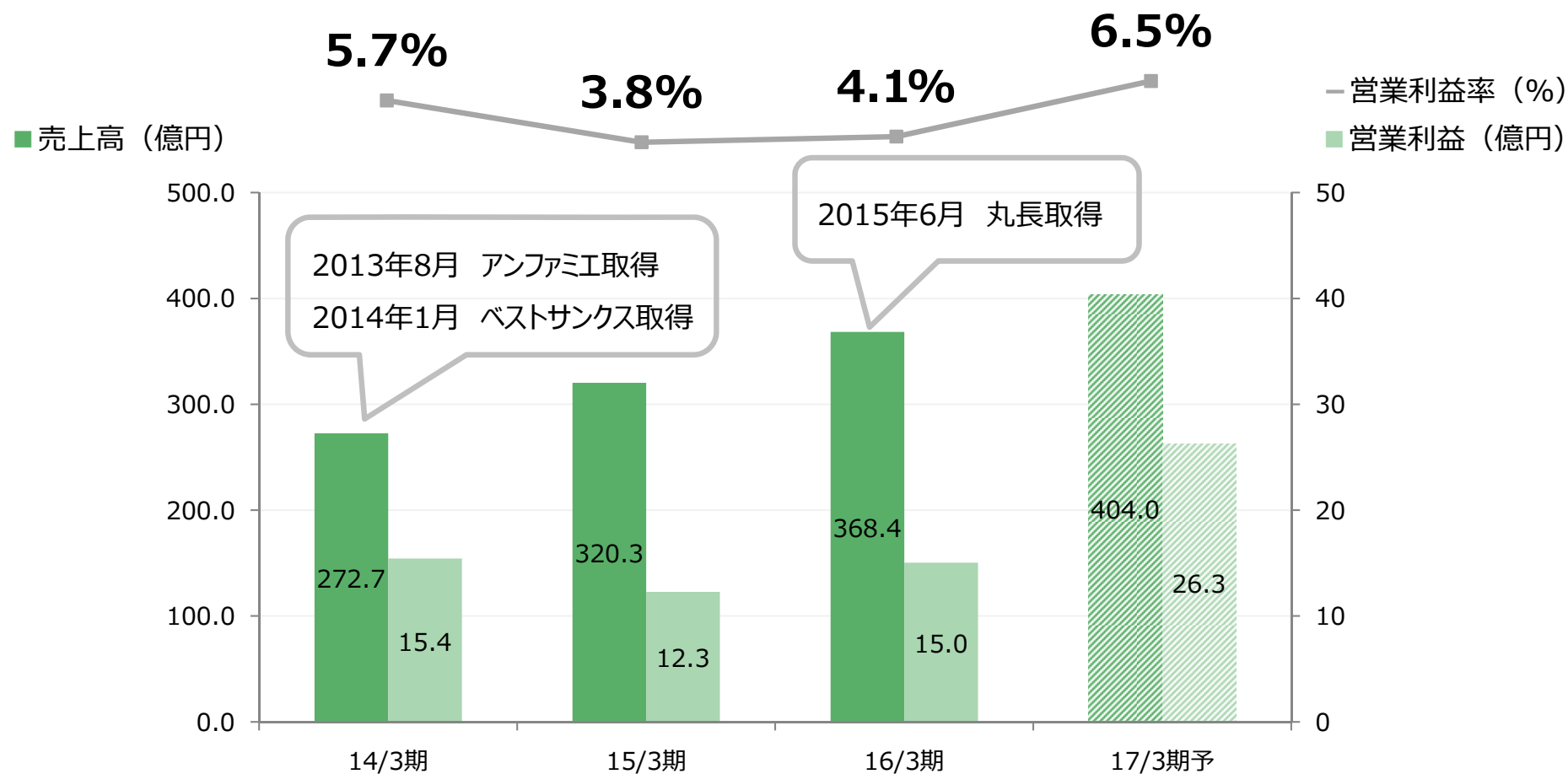
#### 2. 効果のあるテレビの活用ができる

- (1) 売上が大きくなり（カタログ、ネット、店舗）負担を分散できる

## 3-2. 専門通販事業

BELLUNA

グルメ事業と看護師向け通販事業の伸長に加えて、  
M&Aを実施し、拡大基調に。  
獲得したリストの活用でソリューション事業に寄与。  
今後、各事業の内容充実を図り、収益力も強化。



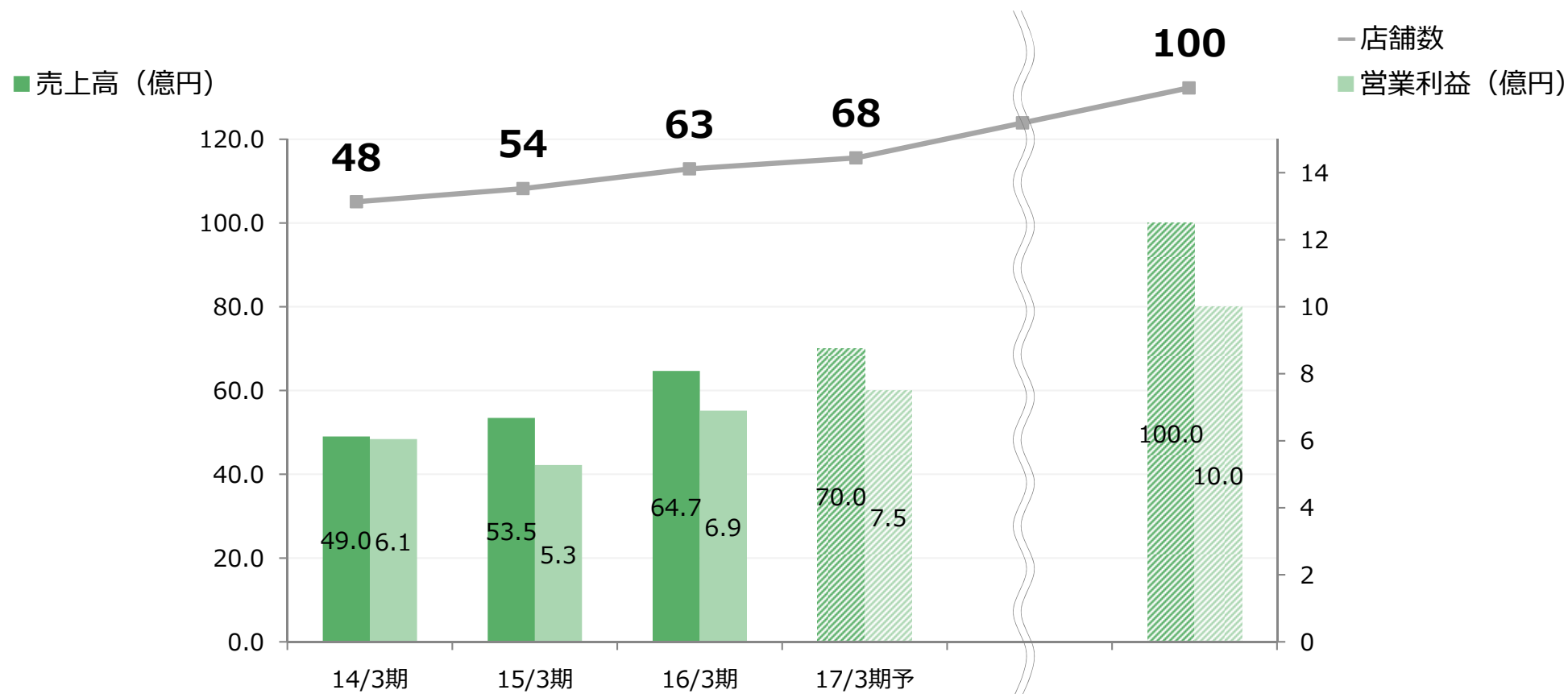
## 3-3. 店舗販売事業：和装店舗

BELLUNA

店舗数が順調に拡大。  
売上・営業利益ともに増収増益を達成。



店舗数と売上高の計画





### 3-3. 店舗販売事業：和装店舗

着物レンタル会社のM&Aを行ない、  
シナジー効果も期待できる。

和装の販売・レンタルで、18/3期 売上高100億円、  
営業利益10億円の達成を目指す。



会社名 : 株式会社マイム  
所在地 : 東京都杉並区荻窪5丁目18番地7号  
設立日 : 1959年6月  
主な事業 : 衣装レンタル（卒業式袴、結婚式等）、その他小物販売  
取得日 : 2016年5月20日  
資本金 : 16百万円

#### ■ 特長

大学生協に入り込み、卒業式袴レンタルが国内シェア約20%と、トップを確保。安定的な収益源となっている。

#### ■ 業績への影響

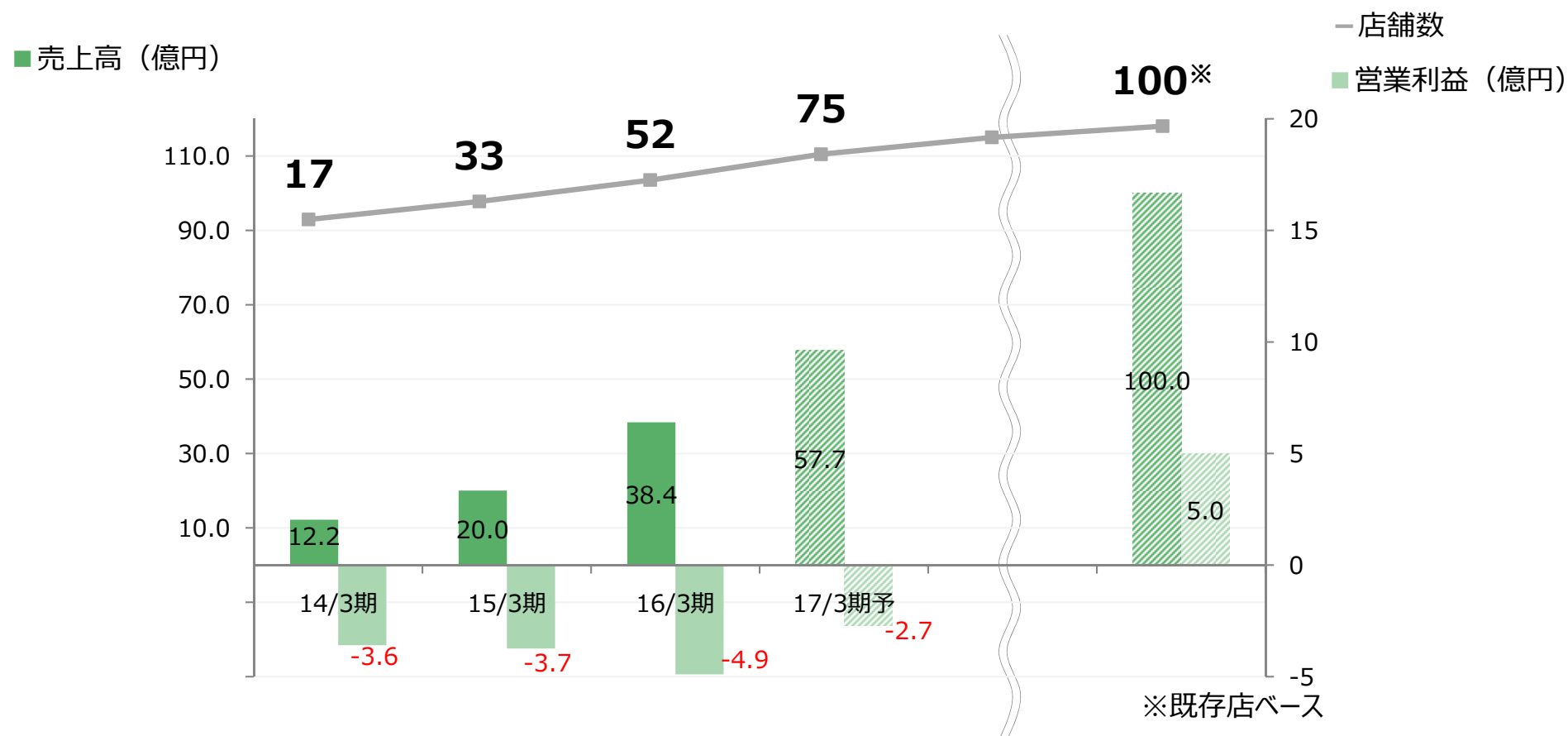
	(売上高)	(営業利益)
15/6期	18.9億円	0.1億円
16/6期（見込み）	19.5億円	0.2億円

### 3-3. 店舗販売事業：アパレル店舗

出店の加速により、52店舗まで拡大し、17/3末には75店舗前後となる見込み。



店舗数と売上高の計画



## 3-4. プロパティ事業

BELLUNA

賃貸事業で安定的な賃貸収入を得ながら、  
開発事業とホテル事業で増収を実現。

～裏磐梯ホテルは今期黒字化予定。今夏には軽井沢ホテルがオープン。



裏磐梯レイクリゾート（2015年10月リニューアルオープン）



ルグラン軽井沢（2016年7月オープン予定）

### <展開中のホテル>

1. 沖縄 浜比嘉島リゾート
2. 裏磐梯レイクリゾート（旧裏磐梯猫魔ホテル）

### <今後の予定>

1. ルグラン軽井沢（シティホテル/2016年7月予定）
2. 京都グランベルホテル（シティホテル/2017年6月予定）
3. 南軽井沢（リゾートホテル/2017年8月予定）

### 安定配当＋株主優待の実施

#### <年間配当>

	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期予
EPS (円)	72.12	65.77	36.45	71.99
配当 (円)	12.5	12.5	12.5	12.5

※株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を元に表記

#### <株主優待>

[内容]	100株以上	500株以上	1,000株以上
総合通販事業の優待券	1,000円分	3,000円分	5,000円分
裏磐梯レイクリゾート割引券	1枚	2枚	4枚

#### [対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

#### [開始時期]

2016年3月末時点の株主様より導入

第三次経営計画を  
前倒し達成し、  
通信販売総合商社の  
さらなる熟成を図る

## <本資料に関する注意事項>

本資料は、2016年3月期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年5月20日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

## <IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当 麻生

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp